

試験依頼番号：2019D-BT-312

試 験 検 査 報 告 書

試験依頼者： 株式会社イングス
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： カビ抵抗性試験
試験責任者： 李 新一

2019年5月24日、当センターに提供された検体について行った
試験結果は次のとおりです。

2019年6月27日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸7-21-14
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書の転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

カビ抵抗性試験

1. 試験目的

検体のカビに対する抵抗性を調べる。

2. 検体（写真1）

スギ処理無

スギ処理腐火止木液処理済

ヒノキ処理無

ヒノキ処理腐火止木液処理済 各1点

合 計 4点

3. 試験カビ

Aspergillus niger NBRC 105649

Penicillium citrinum NBRC 6352

Rhizopus oryzae NBRC 31005

Cladosporium sphaerospermum NBRC 6348

Chaetomium globosum NBRC 6347

4. 試験方法

JIS Z 2911:2018 かび抵抗性試験 一般工業製品の試験法を用いて
試験を行った。

4-1) 試験試料の作製

検体そのものを試験試料とした。

4-2) 試験孢子液調製

試験カビをポテトデキストロース寒天培地に接種し、25℃で、*C. globosum* は 14 日間、その他は 10 日間培養後、Tween 80 0.05%溶液を用いて、それぞれ 10^6 /mL になるように孢子液を調製し、等量混合したものを混合試験孢子液とした。

4-3) 試験孢子液の接種および培養

試験試料表面に混合試験孢子液を噴霧接種し、25℃、RH 95%以上で 4 週間培養した。

4-4) 判定

培養 2 週目と 4 週目に、試料上でのカビの発育を肉眼および顕微鏡にて観察し、表 1 の基準を用いて判定した。

5. 試験結果

検体のカビ抵抗性試験成績を表 2 に示した (写真 2~5)。

表 1. 観察結果の表示方法

菌糸の発育	結果の表示
菌糸の発育が認められない	0
菌糸の発育を認められる面積が、全面積の 1/3 を超えない	1
菌糸の発育を認められる面積が、全面積の 1/3 を超える	2

表 2. 検体のカビ抵抗性試験成績

検体名	培養期間	
	2週目	4週目
スギ処理無	1	1
スギ処理腐火止木液処理済	0	0
ヒノキ処理無	1	1
ヒノキ処理腐火止木液処理済	0	0



写真 1. 検体



写真 2. 培養 4 週間後のスギ処理無の実体顕微鏡像



写真 3. 培養 4 週間後のスギ処理腐火止木液処理済の実体顕微鏡像

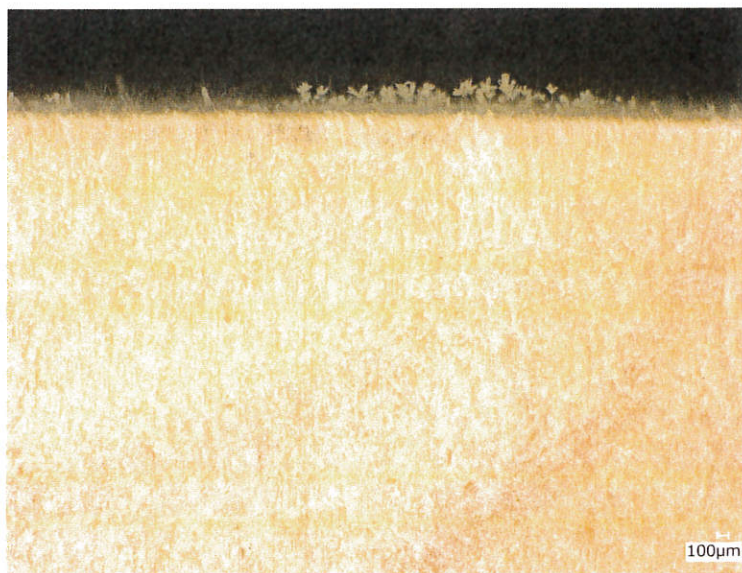


写真 4. 培養 4 週間後のヒノキ処理無の実体顕微鏡像

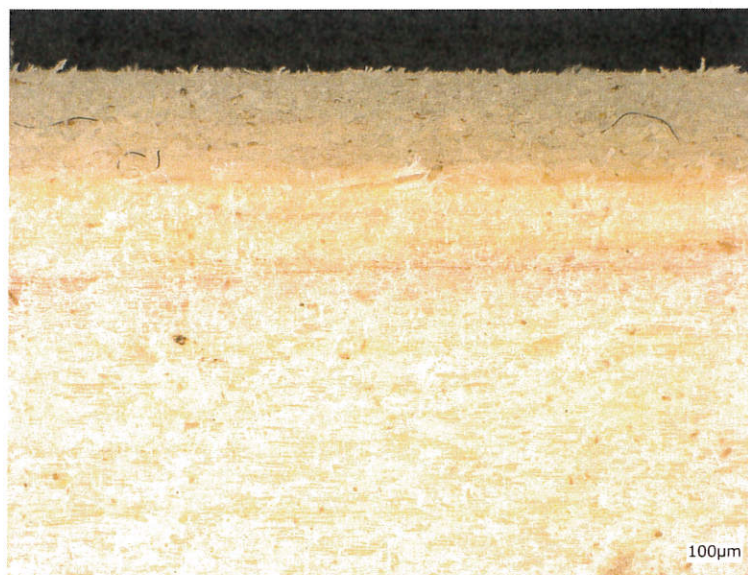


写真 5. 培養 4 週間後のヒノキ処理腐火止木液処理済の実体顕微鏡像

以 上